

平成20年度見附市教育行政計画

見附市教育委員会から市民へのメッセージ

「見附は今、個が輝くとき」
教育創造都市“みつけ”をめざして

基本方針

教育の質の向上

開かれた、市民力をいかした学校づくり

安全・安心で快適な学校環境の整備

地域・家庭の教育力の充実と学びへの支援

時代の変化に対応した教育行政の仕組みづくりと市民との協働の推進

施策推進のための手法

見附市第4次総合計画を上位計画とし、行政各分野、NPO等市民団体との連携を図ります。

学校の主体性、自律性と学校長の裁量を拡大します。

外部評価をいかし学校経営を充実するとともに、教員評価による教師力の向上に努めます。

「見附教育ネットワーク」を強化し、一体となって取り組みます。

パブリックコメント制度の活用を図り、広く意見を求め施策に反映していきます。

学校・地域共創教育システムを構築し施策に汎用性を高めます。

幼保小中の連携を図り、総合的な教育力向上を図ります。

「学校・^{ちいきまうほうきょういく}地域共創教育システム」

学校と家庭・地域の連携を強化し、各種施策に対し常に検証・評価を加えることにより汎用性を高め、地域とともに学校の質を高める基本的な仕組みを構築します。

「教育資源」の活用を図り、学校と地域・家庭を結ぶ役割を担う「教育コーディネーター」を配置し、学校と地域双方の評価の目をより強化します。

学校マネジメントサイクル「PDCA」の確立による継続的学校評価を行い、信頼される開かれた学校を推進します。

注) 市民力: 市民と行政の適正な連携・協力・役割分担のもと、市民が自律して、地域環境の改善に主体的に取り組む総体力をいいます。

注) 見附教育ネットワーク: 地域に開かれた学校づくりを目指す「学校・保護者・地域ボランティア・行政等の一連の連携体制」をいいます。

注) PDCAサイクル: 学校評価を通し、教職員の力を十分に引き出し問題を解決していくための手法として用いられるシステムをいいます。

具体的方策見附市の未来を拓く学校教育の充実

1. 教育の質を向上するために、大学との連携や文部科学省の委託事業をいかし、教師力の向上、教育活動の充実を図ります。また、実践的体験活動を重視し、学校教育の課題解決に取り組めます。

- (1) 学力向上に向けた支援 (学校教育課)
 - ・学力向上プロジェクトの推進
 - ・新潟大学教育人間科学部との連携強化
 - ・学力向上拠点形成事業(平成17～19年度文部科学省委託事業)の成果の活用
 - ・国語力向上モデル事業(平成17・18年度文部科学省委託事業)の成果の活用
- (2) 教師力向上に向けた支援 (学校教育課)
 - ・「師がく」「指導力養成講座」の開催
 - ・学校訪問指導の充実
 - ・教職員研修の充実
 - ・評価の工夫改善に関する総合的地域推進事業(平成17・18年度文部科学省委託事業)の成果の活用
- (3) 実践的体験活動の充実 (学校教育課・公民館)
 - ・わくわく見附アクションプラン(進取・自主の気概をもった人材育成事業)の推進
 - ・わくわく体験塾(発展・補充学習、人間関係づくり)事業の推進
 - ・豊かな体験活動推進地域事業(平成18・19年度文部科学省委託事業)の成果の活用
 - ・キッズフェスティバルの開催
 - ・夏休みわくわくオープンスクールの開催
 - ・こども倶楽部の開催
- (4) 豊かな心の育成 (学校教育課・教育総務課・図書館)
 - ・副読本「見附の歴史」「わたしたちの見附市」の活用
 - ・「心のノート」の活用
 - ・広島平和記念式典への中学生派遣
 - ・市指定無形民俗文化財「小栗山獅子舞」保存継承活動への支援
 - ・矢沢幸記念事業への協力
- (5) いじめ根絶等生徒指導の充実 (学校教育課)
 - ・いじめ根絶スクール集会の開催
 - ・いじめ等対策支援室「シェイクハンド」の設置
 - ・「生徒指導総合連携推進事業」(国立教育政策研究所委託事業)の実施
- (6) 少人数小規模校の特性をいかした教育活動の展開 (学校教育課)
 - ・オープンスクールの実施
 - ・「見附みつばプラン事業」の実施
- (7) 児童生徒の体力向上 (学校教育課)
 - ・健康増進・体力向上のための「1学校1取組運動」の推進
 - ・全学校・全学年での体力テストの実施
- (8) 人権教育、同和教育の推進 (学校教育課)

- ・「人権教育、同和教育研修会」の開催
- ・同和教育基本講座の開催(県教育委員会共催)
- (9) キャリア教育の推進 (学校教育課)
 - ・職業体験活動の実施
- (10) 国際理解教育の推進 (学校教育課)
 - ・英語活動の取組とALT(外国語指導助手)の配置
- (11) 情報教育の推進 (学校教育課)(関係機関)
 - ・地域イントラネット「学びの扉」の有効活用
 - ・警察等関係機関との連携によるネットワークエチケット指導の実施
- (12) 幼児の保育・教育の推進 (学校教育課・こども課)
 - ・嘱託指導主事の配置
 - ・幼児の心を育てる保育活動と幼・保・小等の連携の推進
 - ・読み聞かせ事業の実施
 - ・「幼保小中連携・一貫教育推進事業」(今町地区モデル)の推進
- (13) 豊かな感性を育む機会の提供 (文化振興係・学校教育課)
 - ・文化ホール「アルカディア」を活用した音楽家との交流事業「船橋プロジェクト」の開催
 - ・学校訪問ミニコンサートの開催
- (14) 生涯スポーツ活動の推進 (総合スポーツセンター)
 - ・ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
 - ・総合型地域スポーツクラブの支援
 - ・競技スポーツの推進
 - ・国体開催の準備(平成21年開催)
- (15) 相談支援体制の整備充実 (学校教育課・こども課)
 - ・アシスタントティーチャー(教育補助員・指導助手)の配置
 - ・適応指導教室「すこやかルーム」の設置
 - ・訪問指導員の配置
 - ・心の教室相談員の配置
 - ・青少年育成センターの設置
 - ・家庭児童相談員の配置
 - ・特別支援教育相談窓口「わたぼうし」の設置

具体的方策

2. 保護者や地域の学校運営への参画の推進

地域ぐるみで子どもを育てるために、開かれた学校づくりの推進に取り組むとともに、地域参画型の学校運営を推進します。

- (1) 学校評価の充実 (学校教育課)
 - ・「スクールアカンタビリティ in みつけ」の開催

- ・「学校評価の充実・改善のための事業」(文部科学省委託事業)の推進
- ・学校評議員等外部評価委員の活用
- (2) 学校支援ボランティアとの連携 (学校教育課)
 - ・教育資源の有効活用に向けた「教育コーディネーター」の配置
 - ・地域ゲストティチャーの活用
- (3) 学校情報の積極的な発信 (学校教育課)
 - ・見附フレッシュレター(M・F・L)の運用
 - ・学校ホームページの活用
 - ・スクールコンシェルジェ、エプロン特派員の運用

具体的方策

3. 安全・安心で快適な教育環境の整備

子ども達を取り巻く社会環境の変化に適切に対応するため、安全・安心な教育環境の整備を推進します。

- (1) 学校における安全対策の充実 (学校教育課・教育総務課・消防本部)
 - ・防犯防災教育の推進
 - ・緊急メール「不審者情報」の配信
 - ・学校施設の耐震診断及び耐震化の推進
 - ・快適な学びの空間づくり事業の推進
 - ・ちびっこ防災道場「防災博士初級認定講座」の開催
- (2) 学校安全ボランティア組織との連携 (学校教育課)
 - ・スクールガード事業(文部科学省委託事業)の実施
 - ・「地域ぐるみの安全体制整備推進事業」(文部科学省委託事業)の実施
- (3) 幼児児童生徒の健康の保持及び増進 (学校教育課・教育総務課・こども課・健康福祉課)
 - ・学校給食と食育教育の充実
 - ・「早寝早起き朝ごはん運動」の推進
 - ・喫煙防止教室の開催
 - ・小児生活習慣病予防事業の推進
 - ・歯磨き指導フッ素洗口事業の推進
 - ・学校保健委員会の活用と充実

具体的方策

4. 豊かな生き方を創造する学習の推進

学校、家庭、そして地域が一体となって子どもを育むという気運の醸成と市民の「学び」への支援に取り組みます。

- (1) 学社融合による生涯学習の充実 (生涯学習推進係・公民館)
 - ・学習人材バンク活用事業の推進
 - ・中学生を対象とする「子ども議会」の開催
 - ・学校との連携による「家庭教育講座」の開催

- (2) 図書館サービスの向上による市民の利用促進 (図書館)
- ・郷土資料及び地方行政資料の積極的な収集及び提供
 - ・市民の情報ニーズへの適確な対応
 - ・出前方式による幼児への「読書の楽しさ」普及サービスの拡充
 - ・「読み聞かせ朗読ボランティア養成講座」及びその他学習会の開催
- (3) 文化財保護とその活用による市民の郷土理解の促進 (民俗文化資料館)
- ・文化財の収集・復元と整理による文化財保護と収蔵スペースの有効利用およびその活用
 - ・他部署との連携による文化財の紹介および文化財による郷土学習の場の提供
 - ・手づくり教室開催による創作活動の展開
 - ・資料館展示室の工夫とネーブルみつけ「まちの駅コーナー」での企画展を通しての展示活動の充実
- (4) 子ども週末活動等学習等学習機会の充実 (公民館)
- ・「キッズクラブみつけ」の開催
 - ・「トムソーヤクラブ」の開催
 - ・「こどもといっしょにどきこいこう」の開催
- (5) ふるさとの歴史・文化についての学習機会の充実 (生涯学習推進係・公民館・民俗文化資料館)
- ・「再発見！見附の歴史を訪ねる」の開催
 - ・「機織教室」の開催
 - ・「まちのガイド養成講座」の開催
- (6) 青少年健全育成の推進と支援 (学校教育課・青少年育成センター)
- ・健全な家庭環境創設のための支援及び関係機関との連携による非行防止の推進
 - ・街頭指導の実施
 - ・青少年育成指導者講座の開催
 - ・青少年指導者会議の開催
- (7) 社会環境醸成のための事業の推進 (教育総務課・学校教育課・こども課・公民館)
- ・あいさつ運動の推進
 - ・オアシス運動の推進
 - ・クリーン作戦の開催

具体的方策

5. 開かれた教育行政の推進と民との協働の推進

情報公開及び情報提供制度の積極的な運用により、市民との情報共有を図るとともに、民との協働による施策づくりを推進します。

- (1) 教育委員会の機能向上 (教育総務課・学校教育課)
- ・学校・保育園訪問及び移動教育委員会の開催
 - ・教育委員会会議録等の公開
 - ・双方向性機能を活用した教育委員会ホームページの充実
 - ・パブリックコメント運用による教育振興計画の策定
 - ・教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検、評価の実施

- (2) 民との協働による施策の展開 (教育総務課)
- ・公募型各種検討委員会の設置の検討
 - ・指定管理者との連携・協力による図書館施設の効果的・効率的な管理運営の推進
 - ・市民団体等とのコラボレーション企画の実施

具体的方策

6. 未来を担う子どもたちへの支援

未来を担う子どもたちやその親に対し、子育て支援及びその環境整備を推進します。

- (1)地域における子育ての支援 (こども課)
- ・子育て支援サービスの充実
 - ・保育サービスの充実(早朝・延長保育、乳児保育、一時保育)
 - ・放課後児童クラブを活用した児童の健全育成
 - ・あいさつ運動の実施
- (2)母性並びに乳幼児・学童思春期の健康の確保及び増進 (こども課・健康福祉課)
- ・乳幼児健診の実施
 - ・妊産婦健診への助成
 - ・予防接種の実施
 - ・食育の推進
 - ・乳児・子ども医療費助成の実施
- (3)子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備 (教育総務課・学校教育課・こども課)
- ・次代の親の育成
 - ・読み聞かせ事業の実施
 - ・教育環境の整備・充実
- (4)子育てを支援する生活環境の整備 (建設課・こども課)
- ・安全・安心してゆとりある生活ができる住環境整備や道路環境整備
 - ・花と緑の環境整備
- (5)職業生活と家庭生活との両立の推進 (こども課・まちづくり課・産業振興課)
- ・仕事と子育ての両立支援のための広報・啓発
 - ・男女共同参画意識の啓発
- (6)子ども等の安全の確保 (総務課・学校教育課・こども課)
- ・交通安全教育の推進
 - ・子どもを犯罪から守るための活動の推進
- (7)要保護児童への対応などきめ細かな取組みの推進 (こども課・健康福祉課)
- ・児童虐待防止対策及び相談体制の充実
 - ・ひとり親家庭への自立支援
 - ・障害児に対する相談体制の充実
 - ・自立支援給付
-

参考資料

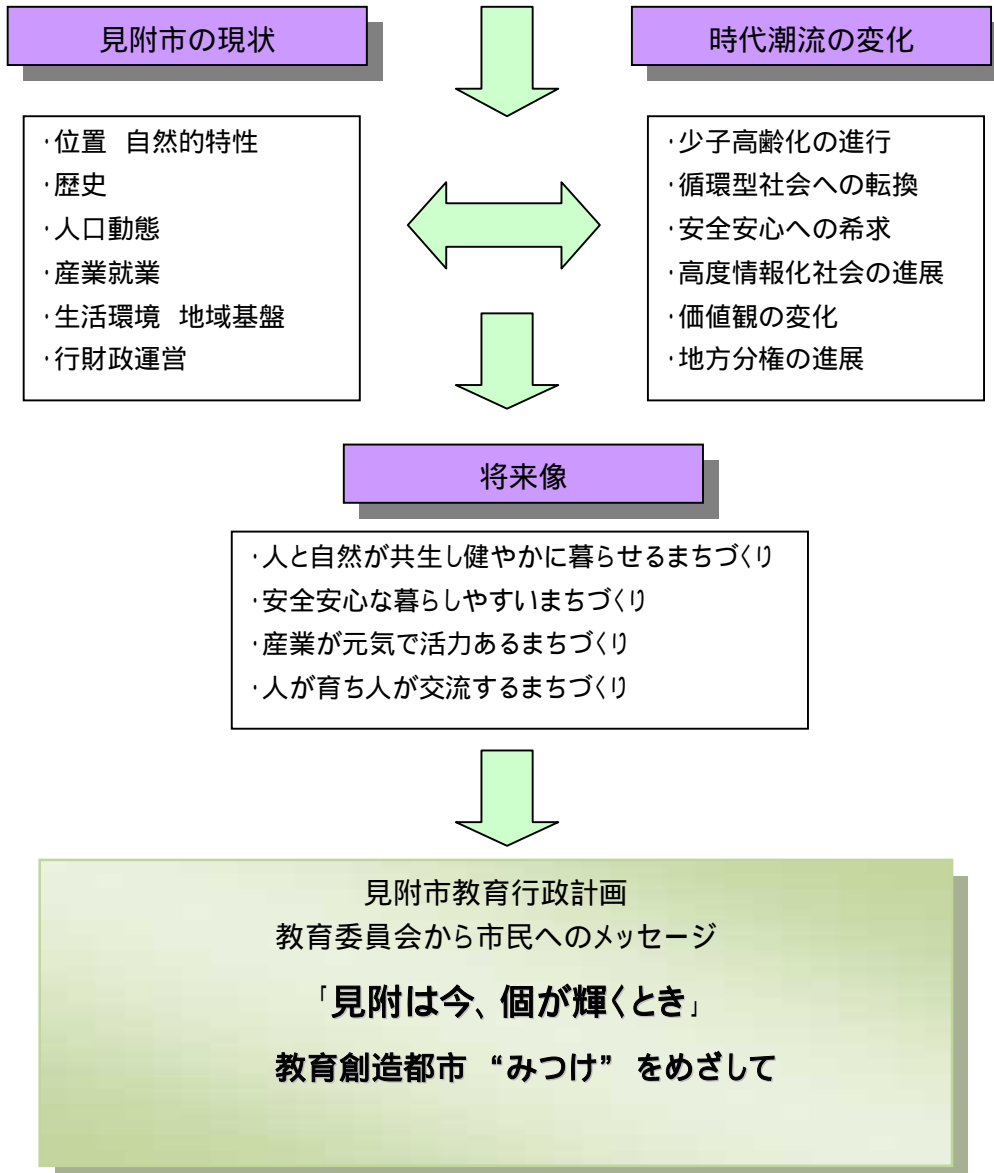
市政と教育行政

1. 構想のプロセス

【 第4次見附市総合計画 基本理念 】

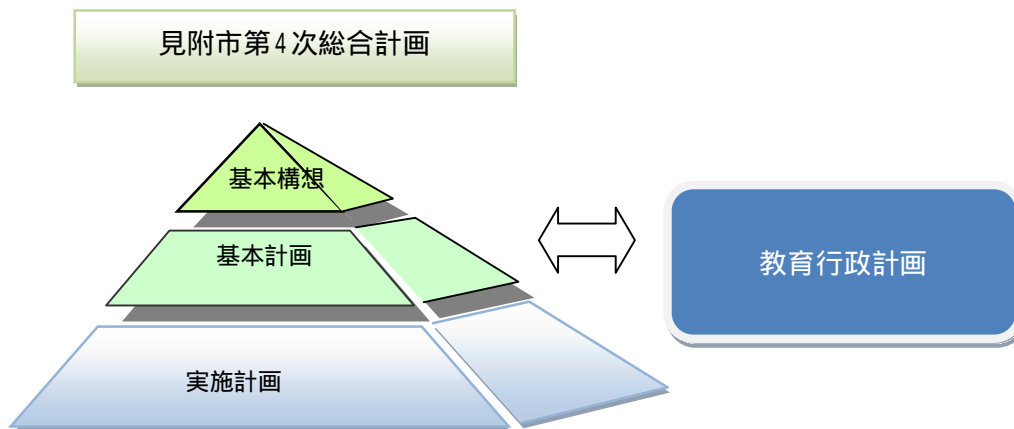
ひとが織り成すぬくもりや活力を生かして、安定した生活基盤を築いて、ここに
住む喜びをさらに磨きあげていく

「 住みたい 行きたい 帰りたい
やさしい絆のまち みつけ 」



2. 計画体系

見附市教育行政計画は、見附市第4次総合計画を上位計画とし、行政各分野における個別計画との整合性を図りながら、本市の教育に関する基本的な目標や施策を示すものです。



3. 計画期間

この計画の期間は、平成18年度から平成27年度までの10年間となります。

